

墨田区立業平小学校で防災教育を実施しました！

～「ぼうさいダック」で安全・安心への「最初の第一歩」を学ぼう～

日本損害保険協会関東支部委員会（委員長：本橋 伸二 三井住友海上火災保険株式会社 コンプライアンス部 地域コンプライアンス部長）では、9 月 29 日（月）墨田区立業平小学校の「セーフティ教室」の学校公開日に、小学生 1～3 年生等 236 名および保護者を対象に「ぼうさいダック」を実施しました。

「ぼうさいダック」は、安全・安心の「最初の第一歩（ファースト・ムーヴ）」を、子どもたちが、実際に身体を動かし、声を出して楽しく遊びながら学んでもらうためのカードゲームです。繰り返しゲームをするうちに、安全・安心への「最初の第一歩」を自然と身につけることができます。当日はゲームを通じて「地震」「津波」「火事」「台風」「洪水」「雷」「誘拐」「道路」の 8 つの身の回りに潜む危険と、自分の命を守るために取るべきポーズを学び、最後は 2 チームに分かれて確認テストも行いました。

会場内は元気な子どもたちで盛り上がり、実施後のアンケートでは「もしもの時に命を守るポーズがわかった」「頭を守ることの大切さに気がついた」「おうちの人にも教えて一生忘れないようにしたい」「災害が起こったら今日のことを思い出したい」「命の大切さがわかった」「津波が発生した時の行動がわからなかったので、勉強になった」「備蓄品を用意したい」などたくさんの感想が寄せられました。

当支部では、引き続き「ぼうさいダック」をとおして、安全・安心のための子どもたちへの防災教育に取り組んでまいります。

（ご参考）「ぼうさいダック」詳細は以下 URL よりご覧いただけます。

<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai-duck/index.html>



菅沼先生による挨拶



頭を守るポーズ（地震）をとる支部職員と子どもたち